

①事業の基礎情報

事業名	生涯スポーツ推進事業				担当部・グループ名	こども未来部 文化スポーツグループ					
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	岡島 正明					
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 300)					
縦覧計画 (基本計画)体系	個別目標	(3)人と学びの輪を広げ、まちのチカラを育みます				予算・事業上の 予算書上の 事業名	款	10款 教育費			
	こんなことに取り組みます	誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーションの機会をつくり、市民交流の場を充実します。					項	6項 保健体育費			
	みんなで目指すまちづくり 指標名	—					目	2目 生涯スポーツ費			
		現状値(H25)	—	実績値(H26)	—		実績値(H27)	—	実績値(H28)	—	目標値(H29)

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	・地域スポーツを通じて健やかな心と身体を作り、市民交流の場を充実させるため、まずは様々な市民がスポーツに親しむことのできるきっかけづくり、環境づくりを行う。		
対象(誰・何を対象に)	市民	対象の数量	46,202 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	・子どもも大人も、初心者も熟練者も、運動が得意な人も苦手な人も、全ての市民が生涯を通じて自分たちのライフスタイルに合わせたスポーツに取り組み、スポーツを通じた交流・人材育成を図っている。 ・地域スポーツを通じて得た経験が、市民の健やかな心と身体づくりへとつながっている。		

③事業にかかる事業費概要

平成 26 年度 (当初)		決算		主な内容
事業費総額 (千円)		45,443	39,747	・スポーツ施設指定管理料 30,345 千円 ・漕艇普及事業委託料 3,981 千円 ・全国大会等参加奨励金 363 千円 ・少年野球専用グラウンド設備撤去工事費 4,094 千円 ・スポーツ推進委員会報酬 772 千円 ほか
財源内訳	一般財源	45,263	39,747	
	特定財源	国・県支出金	—	
その他		180	—	
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業	



▲高浜市民レガッタのようす



▲高浜市民駅伝スタートのようす

#### ④平成 26 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	①たかはまスポーツクラブ・高浜市体育協会・高浜ボートクラブ・高浜市スポーツ推進委員会と協働での事業推進を行った。（各種スポーツ教室講座の開催、高浜市民駅伝、愛知万博駅伝、市民体育大会、高浜市民レガッタ、高浜シティマラソン、稗田川ファミリーウォークの開催、各体育施設の補修・修繕など）	H26.4～ H27.3	各種教室、イベントへの参加者数 6,777人
	②全国大会等参加奨励金の支給など、スポーツ大会参加の促進を行った。	H26.4～ H27.3	全国大会・国際大会出場者数 44人
	③指定管理者と協働で、各体育施設の補修・修繕等を行い、市民がスポーツに親しむことのできる環境整備を行った。	H26.4～ H27.3	体育センター外壁補修、体育センター照明LED化など
進捗状況	当初の計画通り、順調に進めることができた。		
実施内容に対する成果 (事業の自己評価)	☆たかはまスポーツクラブ、ボートクラブ、スポーツ推進委員会と協働で、各種スポーツ教室を開催したことにより、市民がスポーツに親しむきっかけ作りができた。		
	☆各種スポーツ団体への助成やスポーツイベントの開催により、スポーツを通じた地域交流を促進することができた。		
	☆スポーツ施設を適切に維持管理することで、スポーツに親しむことのできる環境づくりができた。		
	☆全国大会参加奨励金を支給し、スポーツ選手の育成に寄与した。		

#### ⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 26 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<b>（１）施設の老朽化に対する適切な修繕</b> ・五反田グラウンド東側の防球ネットについて、ネットやワイヤーが切れている箇所が確認できる。ボールのグラウンド外への飛び出し、ワイヤーが風に煽られることによる建物への被害が懸念されるため、早急な修繕が必要である。	・五反田グラウンドの防球ネットについては早急に修繕を行う。また、五反田グラウンドに限らず、体育施設の利用者や近隣住民の安全を第一に、危険な箇所の修繕を優先して行う。また、経年劣化を早い段階で見つけるために、細やかな点検を実施する。
<b>（２）体育センターの移転</b> ・体育センターの施設老朽化に伴い、現在の機能を今後どのような形で維持し、市民がスポーツに親しむ場を確保していくのか検討が必要である。	・体育センターの機能を高浜小学校へ複合化させることを検討するため、学校施設検討部会で意見交換を行う。

#### ⑥課題解決に向けた平成 27 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに(年月)
計画(案)	①たかはまスポーツクラブと協働で施設の点検・修繕を行い、利用者の安全を確保する。	H28.3
	②体育センターの機能を高浜小学校へ複合化させることを検討するため、学校施設検討部会での意見交換を行う。	H28.3
	③レガッタ・駅伝・シティマラソンなど、年齢・性別等を問わず、多くの市民がスポーツに親しむことのできるイベントを開催する。	H28.3

特記事項